

日越外交関係樹立50周年記念
新作オペラ「アニオー姫」プロジェクト
記者発表会を12月16日ハノイで開催
2023年9月ハノイオペラハウスにて世界初演予定！
日越のプロフェッショナルが新作オペラのために集結




ベトナム国立交響楽団と「アニオー姫」実行委員会（ブレイングループ、ヤマハミュージックベトナム、NPO国際交流促進協議会）は、2023年の日越外交関係樹立50周年を記念して、新作オペラ「アニオー姫」を企画・製作・公演することになりました。

本プロジェクトは、「日越の交流と友好促進」「両国の音楽文化の発展」を目的とし、2023年9月にハノイオペラハウスにて世界初演を行う予定です。内容は、17世紀初頭の朱印船貿易時代にあった日本・長崎の商人、荒木宗太郎とベトナム・ホイアンの玉華姫（アニオー姫）の恋の物語をモチーフとする創作オペラです。

日本とベトナムは、遥か古（いにしえ）の頃より、信頼し合う対等なパートナーとして大変良好な関係にありました。この史実をベースにオペラ化することで、今後、50年、100年と先の未来へ、両国の関係がさらに深化していく象徴となるような作品を目指します。


本プロジェクトは、在ベトナム日本国大使館・山田滝雄特命全権大使を名誉顧問にお迎えし、在越日本国大使館はじめ、多くの日越関連団体にご後援・ご協賛・ご賛同いただき、両国官民学あげでの取組みとなる予定です。

＜ プロジェクト概要 ＞

- タイトル :  新作オペラ「アニオー姫」プロジェクト
目的 : 音楽による日越交流・友好促進

日越外交関係樹立50周年を記念して、日越の音楽文化の発展と両国のさらなる友好交流を促進するために、日越両国共同で、両国の感動的史実をモチーフとした新作オペラの製作公演を行う。

主催 : 「アニオー姫」実行委員会 
(ブレイングループ、ヤマハミュージックベトナム、NPO国際交流促進協議会)

共催 : ベトナム国立交響楽団 
VIETNAM National
Symphony Orchestra

<新作オペラ「アニオー姫」プロジェクト>

名誉顧問 山田滝雄 (在ベトナム日本国大使館 特命全権大使)

代表 本名徹次 (ベトナム国立交響楽団 音楽監督兼首席指揮者)

共同代表 チン・トゥン・リン (ベトナム国立交響楽団 代表)

古川直正 (「アニオー姫」実行委員会 実行委員長)

後援 : ベトナム文化スポーツ観光省、在ベトナム日本国大使館、
長崎県、国際交流基金ベトナム日本文化交流センター、
ベトナム日本商工会議所、ホーチミン日本商工会議所、ダナン日本商工会議所、
ベトナム音楽家協会

協賛 : 【プラチナサポーター】



エースコックベトナム、出光興産 (株)、トヨタモーターベトナム、大和ハウス工業 (株)

【ゴールドサポーター】

ENEOSベトナム、ベカメックス東急、日鉄建材ベトナム

協力 : 横浜みなとみらいホール、KAJIMOTO、(株)アーモンド、
ロイジェント・パークス・ハノイ、GMO-Z.com RUNSYSTEM

開催日程 : ベトナム公演 2023 年 9 月 (公演日数は調整中)

※1973 年 9 月 21 日、日越国交正常化調印

開催場所 : ハノイオペラハウス (1 Trang Tien, Hoan Kiem, Ha Noi, Vietnam)

企画内容 : 史実をもとに古 (いにしえ) から育まれる両国の良き関係を新作オペラに!

荒木宗太郎は、安土桃山～江戸時代にかけての御朱印貿易商であり、長崎から広南国 (現在のベトナム中部) へ赴き、広南国の阮福源王から信頼を得て王女と結婚した。御朱印船は、16 世紀末から 17 世紀初頭、当時の為政者からの海外渡航許可証 (朱印状) を得て、日本がベトナムなど主に東南アジア方面との交易を行った船。宗太郎は、玉華姫を正妻として長崎に迎え、姫は長崎の人々から「アニオーさん」として親しまれ生涯を長崎で過ごした。アニオー姫の輿入れの様子は、今も長崎の祭事「長崎くんち」(毎年 10 月 7・8・9 日開催) において、7 年に 1 度「御朱印船」の演目で再現され続けている。

本オペラでは、この史実をモチーフに日越の友好と交流の歴史は古 (いにしえ) よりあり、その頃から互いが尊敬しあえる関係であったことを描く。日越外交関係樹立 50 周年を記念し、このオペラ作品が良き外交関係のシンボルとして未長く未来へと語り継がれていくことを目指し世界に発信する。


物語 : 「両国で語り継がれるベトナムの姫と日本の商人との愛の物語」

荒れ狂う海、世界は“大航海時代”の 17 世紀初頭。広南国の王女・玉華姫と日本の商人・荒木宗太郎は、両国を結ぶ大海原の船上で出会う。それから 10 年後、二人は運命に導かれ再会。いつしか恋に落ち、結婚することを決意する。娘を異国に嫁がせることに反対する王であったが、二人の変わらぬ決意と深い愛を確認した王は、結婚を許し二人を日本・長崎へ送り出す。

「アイン・オーイ！」長崎の町中で、天真爛漫な玉華姫が宗太郎を広南の言葉で元気に呼びかける。長崎の人々はそんな姫を見て、いつしか「アニオーさん」という愛称で呼ぶようになった。町の人々にも愛され、娘も生まれ、幸せいっぱい二人。

そんな二人に抗えない“時代の波”が襲いかかる。長崎奉行から鎖国の通達が下されたのだ。二人の運命の行方は…?

公式サイト URL : <https://anio-opera.jp>

QRコード : 

＜ 制作 ＞

- 総監督 : 本名徹次
- 作曲 : チャン・マイン・フン
- 原作 : 新作オペラ「アニオー姫」プロジェクト原作チーム
- 戯曲 作詞（日本語） : 大山大輔
- 作詞（ベトナム語） : ハー・クアン・ミン
- 演出 : 大山大輔
- 共同制作 : ベトナム国立交響楽団、ベトナム国立オペラバレエ団
- 漆画キービジュアル : 安藤彩英子
- 舞台 技術 : (株) アートクリエイション
- 歴史考証 : ファン・ハイ・リン、友田博通、福川裕一、菊池誠一、安藤勝洋、本馬貞夫
- 統括プロデューサー : 古川直正
- プロデューサー : チン・トゥン・リン、谷真琴、佐々木真二
- 企画協力 : 在ベトナム日本国大使館

○主な制作者プロフィール

本名徹次（総監督）



1957年福島県出身。名古屋フィルハーモニー交響楽団とのアジアツアーを機にベトナム国立交響楽団との縁が始まり2001年より指揮、2009年音楽監督兼首席指揮者に就任し現在に至る。2010年ハノイ遷都千年祭の記念公演ではマーラー交響曲第8番「千人の交響曲」を指揮、その後同団を率いてアメリカ、イタリア、ロシアツアーを成功させた。日越外交関係樹立40周年（2013年）と45周年（2018年）には日本ツアーを行い好評を博した。

東京芸術大学在学中より指揮活動を開始、国内はもとよりミラノ・スカラ座管、ミラノヴェルディ管、プラハ放送響など数多くのオーケストラを指揮。

東京国際音楽コンクール最高位、トスカニーニ国際指揮者コンクール第2位、ブダペスト国際指揮者コンクール優勝など受賞歴多数。2012年長年のベトナム音楽界への貢献に対しベトナム政府より文化功労賞を、2018年にはベトナム各国友好組織連合会より諸国平和友好記念章を、2019年には渡邊暁雄音楽基金特別賞を授与された。

チャン・マイン・フン（作曲）



1973年ハノイ出身。作曲家・音楽プロデューサー。

ハノイ音楽院（現：ベトナム国立音楽アカデミー）作曲科卒業、同大学院作曲専攻課程修了。

2008年スウェーデン国際開発協力庁によるロックオペラ「夢と現実」、2009年ボン・ベートーヴェン音楽祭にて交響詩「レ・チ・ヴィエン」を、2020年には「ガイ・スアン・モ・ホイ（開春の際に、お祭りも開催）」を作曲。

2007年から3年連続でベトナム音楽家協会による最優秀作曲賞を、ホーチミン市テレビ局最優秀作曲賞（2011年）、ベトナム国家賞作曲賞（2017年）、ベトナム映画祭（ゴールデン・ロータス）映画部門優秀音楽賞（2019年）、ベトナム映画協会（ゴールデン・カイト）映画部門優秀音楽賞（2020年）を受賞。

大山大輔（戯曲／作詞・日本語／演出）



1982年鹿児島県出身。オペラ歌手、演出家、台本作家。

オペラ歌手として「セビリャの理髪師」「魔笛」「メリー・ウィドウ」など数々の名作にて好演し活躍するのみならず、劇団四季「オペラ座の怪人」ファントム、野田秀樹演出による「フィガロの結婚」フィガロ、手塚治虫原作/宮川彬良作曲「BLACK・JACK」ブラックジャック等、様々な舞台で主役として観客を魅了する。そのジャンルを超えた多彩な舞台経験から、これまでに多数の舞台作品の演出、そして上演台本を手がけている。2019年にはプッチーニ「蝶々夫人」のカンボジア・プノンペン公演の総合演出を担当、現地初のオペラ公演の成功に貢献した。東京藝術大学首席卒業。

ハー・クアン・ミン（作詞・ベトナム語）



1977年ハノイ出身。ジャーナリスト、作家、作曲家、アートキュレーター。

詩、文学、新聞等幅広く執筆。これまでに数々の詩集や文学作品を発表。

「テ・タオ・バン・ホア（文化スポーツ新聞）」「ボン・ダ（サッカー新聞）」などベトナムで人気の新聞の編集者で、社会・文化に関する様々なトークショーに出演することも。現在、公安文芸週刊新聞に勤務。

作曲家としても活動しており、ハー・ゴック・ハー、アン・カン、ファム・アン・コアらに楽曲提供している。また、アーティスト、レ・ティエット・クオンやトラン・トラング・リンらのアートキュレーターも務める。

安藤彩英子（漆画キービジュアル）



1968年愛知県出身。漆画家。1995年に渡越。1996年よりハノイで漆画家チン・トアン氏に師事し現代漆画技法を学ぶ。その後、漆芸の匠ゾアン・チー・チュン氏の工房に弟子入りし、漆の精製から下地塗、道具作りなど、後継者不足に瀕するベトナム伝統漆芸をマスター。様々な国際的な交流事業やフィールドワークを通して長年にわたり天然漆と漆芸技術を研究、独自の漆画技法を確立しコンテンポラリーな作品を内外で発表し続けている。ベトナム天然漆を未来の素材として次世代に伝えるべく2019年にはLacquer Seedsブランドを立ち上げ、若い職人の育成にも力を注ぐ。2000年には外国人で初めてハノイ美術協会会員に認定された。現在はホイアンを拠点に活動中。

○お問い合わせ先

新作オペラ「アニオー姫」プロジェクト事務局

公式サイトお問い合わせページよりご連絡ください。

公式サイトURL：<https://anio-opera.jp>

QRコード：

ベトナム：ブレインコミュニケーションズ 担当 梁家健

日本：(株)ブレイン 担当 佐藤絵麻